

国際シンポジウム

「世界における日中文化と文学」(世界中的中日文化与文学)

プログラム

主催 早稲田大学日本古典籍研究所・早稲田大学日本宗教文化研究所〔日本側〕

東北師範大学文学院・東北師範大学外国語学院〔中国側〕

期日 2006年9月1日(金)・2日(土)

会場 東北師範大学外国語学院(中華人民共和国・長春市)

A会場 = 外国語学院7階、大教室

B会場 = 外国語学院3階、会議室

C会場 = 外国語学院1階、日本研究所接待室

[基調講演・セッション一覧]

9月1日(金)

午前

基調講演 (10:00-12:00) A会場

午後

セッション 文学理論と近代文学 (13:00-17:45) A会場

セッション 漢詩文と和歌 (13:00-17:40) B会場

セッション 物語・日記・説話の生成と受容 (13:00-17:40) C会場

9月2日(土)

午前

セッション 日本近代文学の思想と特質 (8:00-12:15) A会場

セッション 日本における漢籍受容と学問・思想・宗教 (8:00-12:15) B会場

午後

セッション 中国語と日本語の交流 (13:15-15:45) A会場

セッション 日本における漢籍受容と学問・思想・宗教 (13:15-15:10) B会場

第1日 9月1日(金)

1日午前

開幕式 (9:00-10:00) A会場 司会：林 嵐・河野 貴美子（一部、通訳兼任）

- ・中国側の挨拶 東北師範大学 副学長 楊 忠 教授
- ・日本側の挨拶 早稲田大学日本古典籍研究所 所長 高松 寿夫 教授
- ・記念撮影

1日午前

基調講演 (10:00-12:00) A会場 司会：林 嵐・河野 貴美子 *いずれも通訳が付きます。

(10:00)

文化的トポスにおける日本文学史の再構築

東北師範大学 教授 孟 慶枢

(11:00)

自讃の文学 大江匡房の自作四十九日願文を中心に

早稲田大学 教授 吉原 浩人

昼 食 (12:00-13:00)

1日午後

セッション 文学理論と近代文学 (13:00-17:45) A会場

(13:00) 司会：郭 宏安

比較文学の観点から見た日本詩歌の特質

武漢大学 教授 張 思齋

文化交流の視点からの近代ナショナリズム批判 日本人の漢文化の伝承を例にして

吉林大学 教授 于 長敏

フランス文学論

中国社会科学院 教授 史 忠義

受容理論と読者反応論

東北師範大学大学院（博士課程） 竹島 奈歩

（休憩 15分）

(15:15) 司会：史 忠義

ボードレール詩学

中国社会科学院 教授 郭 宏安

中島敦の小説における文化背景 東アジア文化圏の中で考察する場合

華中師範大学 教授 李 俄憲

『紅樓夢』に見られる「茶」

東北財経大学 教授 李 鋒伝

中国明・清小説研究

東北師範大学国際交流処 安 載鶴

近代日本漢学と対中国オリエンタリズム

東北師範大学大学院（博士課程） 泊 功

1日午後

セッション 漢詩文と和歌 (13:00-17:40) B会場

(13:00) 司会：兼築 信行

漢詩表現の類型性と和歌

早稲田大学 教授 高松 寿夫

古代のうたと漢詩文 「こいまるぶ」と「輾転」・「反側」について

早稲田大学大学院（博士後期課程） 岩田 久美加

平安初期の梵門詩 唐人撰唐詩集の仏教詩との比較

國學院大學 教授 波戸岡 旭

（休憩 15分）

(14:30) 司会：高松 寿夫

「風流」と「みさを」

早稲田大学大学院（修士課程） 新井 敬子

題壁詩と和歌

早稲田大学高等学院 講師 加島 吉春

平安時代和文における「血の涙」「紅の涙」

大連外国語学院 講師 于 永梅

新勅撰集撰集資料としての範宗集

早稲田大学大学院（博士後期課程） 小沢 美沙子

（休憩 15分）

(16:25) 司会：高松 寿夫

『平家物語』における贈渤海使漢詩

上海交通大学大学院（修士課程） 張 卓識

『資平集』の「古集」十首について 源資平の和歌における『白氏文集』受容

早稲田大学大学院（博士後期課程） 鏑 武彦

詩歌の作法と近代

早稲田大学 教授 兼築 信行

1日午後

セッション 物語・日記・説話の生成と受容 (13:00-17:40) C会場

(13:00) 司会：陣野 英則

『源氏物語』における戸締まり具 登場人物の位置と空間の所有・管理の問題

早稲田大学大学院（博士後期課程） 金 秀美

今川了俊筆『源氏物語』傍注の性格

呉工業高等専門学校 専任講師 新美 哲彦

詠源氏物語詩『紫史吟評』 江戸幕府奥儒者の源氏物語受容

中央学院大学 講師 岡部 明日香

（休憩 15分）

(14:30) 司会：新美 哲彦

堺本枕草子の生成・編纂の問題について

早稲田大学大学院（博士後期課程） 山中 悠希

大正末における「女流日記文学」のカノン化について

広東外語外貿大学 助教授 劉 金拳

『堤中納言物語』の短篇性と読者 「逢坂越えぬ権中納言」を中心に

早稲田大学 助教授 陣野 英則

『大鏡』藤原義孝往生逸話における反「往生伝」的姿勢

宇都宮海星女子学院中学校・高等学校 常勤講師 中島 俊博

（休憩 15分）

(16:25) 司会：陣野 英則

『今昔物語集』における衣装

長春工業大学 助手 万 麗那

芥川龍之介小説「往生絵巻」と「今昔物語」

遼寧師範大学 助手 孫 亜楠

「芦刈」に見られる家庭倫理 『大和物語』と『今昔物語』の場合

東北師範大学 教授 林 嵐

歓迎会

第2日 9月2日(土)

2日午前

セッション 日本近代文学の思想と特質 (8:00-12:15) A会場

(8:00) 司会：張 思齋

芥川の「俊寛」について

東北師範大学 助教授 郭 艶萍

芥川龍之介の「藪の中」についてのテキスト分析

東北師範大学大学院(博士課程) 高 迪

川端康成戦後古典回帰と魔界に入る意義

東北師範大学 助教授 商 雨虹

灰谷健次郎の文学作品の中における多重主題

アモイ大学 講師 錢 劍鋒

(休憩 15分)

(10:15) 司会：于 長敏

大江健三郎の後期創作における新しい動向

山東大学 教授 胡 志明・郭 秀梅

反逆・刷新・困惑 現代女性文学についての考察

ハルピン師範大学 教授 王 宗傑

大江健三郎の文学思想

東北大学 助教授 王 新新

貞恵・貞孝姫の墓から見た中日文化の接触と融合

広西民族大学 助教授 呂 書宝

2日午前

セッション 日本における漢籍受容と学問・思想・宗教 (8:00-12:15) B会場

(8:00) 司会：木戸 裕子

『六国史』に見える「請益」の用語について

札幌大学 教授 泉 敬史

渤海と日本との毛皮貿易について

桜美林大学大学院(修士課程) 姜 成山

日本古代の漢籍受容 善珠と安澄の場合

早稲田大学 専任講師 河野 貴美子

(休憩 15分)

(9:30) 司会：泉 敬史

正倉院文書の文字使用について

魯東大学 井上 幸

『日本霊異記』の仏像霊異説話について

渤海大学 助手 劉 九令

大江匡衡の儒仏道

鹿児島県立短期大学 教授 木戸 裕子

(休憩 15分)

(11:00) 司会：河野 貴美子

漢文日記にみる学問・文芸 『後二条師通記』を中心として

学習院大学大学院(博士後期課程) 中丸 貴史

大江匡房「花樹契畧年詩序」をめくって

総合研究大学院大学(博士課程) 七田 麻美子

平安朝漢詩文のなかの自伝的作品

大阪大学 名誉教授 後藤 昭雄

昼 食 (12:15-13:15)

2日午後

セッション 中国語と日本語の交流 (13:15-15:45) A会場

(13:15) 司会：李 俄憲

非言語の中日比較

東北師範大学 教授 桂 玉植

電話会話における前置き表現

東北師範大学 助手 李 颯

日本語「力変動詞」の規則化研究

魯東外国語学院 助教授 李 晨

狂言における中国語(唐音)摂取

日本女子大学 教授 坂本 清恵

癡狂・僭越・近代性 井原西鶴の好色物の中の哲学文化

吉林大学大学院(博士課程) 王 雨

2 日午後

セッション 日本における漢籍受容と学問・思想・宗教 (13:15-15:10) B 会場

(13:15) 司会：河野 貴美子

『平家物語』における蘇武説話の意義

東北師範大学大学院（修士課程） 張 文静

弘安九年後宇多天皇の上丁御会をめぐって

日本学術振興会 特別研究員 仁木 夏実

（休憩 15 分）

(14:20) 司会：吉原 浩人

浄土宗における漢籍受容 了誉聖岡著作を中心に

二松学舎大学 COE 研究員 鈴木 英之

歴史民俗学的視点から「山の霊場」を見る 山形県「山寺」、寺域の変遷から

総合研究大学院大学（博士課程） 工藤 紗貴子

2 日午後

開幕式 (15:50-16:10) A 会場 司会：林 嵐・河野 貴美子（一部、通訳兼任）

中国側の挨拶 東北師範大学外国語学院 学院長 林 嵐 教授

日本側の挨拶 早稲田大学日本宗教文化研究所 所長 吉原 浩人 教授

送別会